

第 114 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 30 年 12 月 3 日（月）～6 日（木）

大阪大学 吹田キャンパス（プラズマ・核融合学会第 35 回年会）

2. 来訪者 60 名程度

3. 説明概要

プラズマ・核融合学会第 35 回年会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、最新の建設状況、ITER 国内機関として ITER 製作機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募に関して説明を行った。また、建設中の ITER サイトの様子を見ることができる VR の体験コーナーを設けた。

（ITER 連携推進グループ 近藤、會澤、古田、ITER 計画管理グループ 大原）

4. 主な Q&A

Q: ITER 機構のインターンシップでは旅費は支給されますか？

A: ITER 機構インターンシップは原則として旅費の支給はありません。ただし、4 つに分けられているカテゴリーのうち、カテゴリー A（修士課程の学生）及びカテゴリー S（修士課程、研究職員など）の対象の方は ITER 機構の承認により支給される可能性があります。また、カテゴリーによっては ITER 機構より毎月手当が支給されます。詳細については、ITER Japan ウェブサイトをご確認ください。

http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/internship_program.html

Q: ITER 機構のヘッドは誰ですか？

A: ベルナール・ビゴ氏（フランス）です。

ITER 機構の組織体制については ITER Japan ウェブサイト「ITER 機構の組織について」をご覧ください。

http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/io/page3_4.html

Q: ITER の機器はどのようにトカマクピット内に運ぶのですか？

A: 巨大クレーンによって吊り上げられ、トカマクピット上部から中におさめられます。

Q: ITER 建設サイトをドローンで撮影した動画はどこで観られますか？

A: ITER Japan ウェブサイト「ITER ビデオライブラリー」でご覧いただけます。

他の ITER 関連動画も随時アップロードされますのでぜひご覧ください。

http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/iter/page1_22.html

Q: 那珂核融合研究所は日本原子力研究開発機構ではないのですか？

A: 2016 年 4 月 1 日に放射線医学総合研究所と、同じく日本原子力研究開発機構だった量子ビーム科学研究部門とともに、核融合部門が統合され量子科学技術研究開発機構（量研）となりました。量研は放射線医学、量子ビーム、核融合の最先端の研究開発を推進しています。

5. 展示会の様子

